

4月20日（木） 花びら

扇おうぎしょうがっこう 小学校には今いま、たくさんのきれいな花はなが咲さいています。チューリップ、タンポポ、パンジー、スズラン、菜なの花はななどなど、気持ちきもちを明るくあかしてくれそうですね。



どうして花はなびらは、きれいな色いろをしているのでしょうか。なぜ、花はなによって色いろが違ちがうのでしょうか。考えたことかんがは、ありますか。

きれいな色いろをしていると、誰だれでも見みたくなります。それは人だけではありません。虫むしも同じです。きれいな色いろを探さがしてたくさんの虫むしが集あつまってきます。すると、その虫むしが花はなに、花粉かふんをつけてくれるのです。花粉かふんがつくと、新あたらしい種たねができます。その種たねが、次つぎの年としにもきれいな花はなを咲さかせてくれるというわけです。

虫むしのおかげで新あたらしい花はなが咲さくので、花はなは虫むしにお礼れいをしています。それが蜜みつです。虫むしは花はなから蜜みつをもらえるので、花粉かふんを運はこんでくれるようです。

虫むしと花はなは、このように仲良なかよく生活せいかつし、お互いたがのためになっているのです。

村越 新